



ラオスという国

一般財団法人地域社会ライフプラン協会
竹内 敦

夏休みを利用して、タイ経由でラオスに行った。日本からの直行便はなく、ベトナム経由やタイ経由がオーソドックスな行き方だろう。

村上春樹氏が「ラオスにいったい何があるかというんですか?」という紀行文集を書いている。これに対する私の答えは、「何もない」だ。だから良いのだ。現地ですれ違ったフランス人に聞いたら全く同じ答えだった。まず、この国、日本のパスポートだけで入国できる。ビザが要らない。そして、アジア最後の桃源郷と言われているラオス。今回、バンコクでス



写真上：ルアンパバーンの街並み
写真下：僧侶の托鉢

トップオーバー、ビエンチャンへ行き、ビエンチャンからラオス国内航空でルアンパバーンへ行く経路をとった。帰路も同一経路だ。

まずは、位置関係から。タイ、ミャンマー、ベトナム、中国、カンボジア、の5カ国と国境を接し、海は無い内陸国。行くならば首都ビエンチャンではなく、古都ルアンパバーンがおすす

め。美しいラオスらしい町並みと、歴史的、文化的遺跡保護の観点から、1995年、ユネスコによって世界遺産に指定された。

ここからは、個人的な体験や感想。

◆ ラオスでは、国内便に乗る時もパスポートが必要である。この時、審査官に引っかかった。入国スタンプが無いというのだ。入国



バックデートして押された入国スタンプ

時、確認したかと聞かれたが、そんなことは普通しないので、していないと答えた。1990年代、アジアの某国で頻発した、別室に案内され、領収書の発行できない罰金（笑）を請求されるかと思っただ。ラオスはそんなことはしない。本当に押し忘れたようだ。係官が国際線ターミナルまで行き、入国スタンプを押して来てくれた。

◆ タイで片言の英語ができるタクシードライバーに「次はどこに行くのか」と聞かれ、ラオスと答えたら分かってもらえず、「ラーオ」と言い直したら伝わった。確かにラオス国営航空もLao Airlinesだ。日本だって、明治初期ならば、ジャパってどこ?って日本人は感じたであろう。因みに、タイで日本は、ニッポンと呼んでいる。

◆ ラオス通貨はやたらゼロが多い。トゥクトゥクでボラれたが、原因は私が一桁間違えてしまった事。よくある話、



最高額紙幣の10万キープ (1250円くらい)

◆ ラオスの空港では通常、出発時は、ボーディングゲートから。到着時は歩くみたい。



◆ 面白い看板。禁煙です。喫煙所ではないですよ。Freeの意味を取り違えないように、



◆ ビエンチャン空港国内線ターミナル出発便掲示板、

目的地	フライト	出発時間	到着時間
NAKHON	QV 615	07:10	
LUANG PHABANG	QV 607	08:30	
PHOU KHOUANG	QV 111	09:10	
PHOU KHOUANG	QV 222	10:20	
LUANG PHABANG	QV 101	11:30	
LUANG PHABANG	QV 401	15:10	
LUANG PHABANG	QV 516	17:00	
LUANG PHABANG	QV 501	18:40	

◆ ハエが大きい、正露丸をたくさんのだ、ルアンパバーンでは、日本人はほぼ見かけない。その他たくさん書ききれません（汗）。